

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月1日

上場会社名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
 コード番号 4783 URL <https://www.ncd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 下條 治
 (氏名) 加藤 裕介
 TEL 03-5437-1021

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,595	4.4	80		63	88.4	8	
2020年3月期第3四半期	13,170	6.3	526	35.5	545	35.9	416	27.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 44百万円 (88.9%) 2020年3月期第3四半期 398百万円 (15.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.10	
2020年3月期第3四半期	52.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,931	3,945	35.9
2020年3月期	11,617	3,913	33.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,924百万円 2020年3月期 3,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		7.00	14.00
2021年3月期		7.00			
2021年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	4.3	50	94.7	200	79.0	80	87.7	9.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2021年2月1日)公表の「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	8,800,000 株	2020年3月期	8,800,000 株
2021年3月期3Q	728,932 株	2020年3月期	858,632 株
2021年3月期3Q	8,025,320 株	2020年3月期3Q	7,941,368 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響による景気減速が続きました。1月には昨年につき2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、当面は先行き不透明な状況が継続するものと見込まれます。

このような状況下、当社グループの属する情報サービス業界におきましては、景気減速に伴いIT投資の抑制姿勢を打ち出す企業がある一方、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みが加速しています。

自転車・駐輪場業界におきましては、2020年4月に発出された緊急事態宣言解除後は、経済活動の段階的な再開に伴い駐輪場利用状況は回復傾向にありましたが、都市再開発計画の延期などにより新規案件の減少が見られ、今後の動向を注視する必要があります。

当第3四半期連結累計期間のIT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）においては、既存顧客の新領域獲得が順調に伸長するとともに、サポート&サービス事業における利益率の改善が見られたことにより、前年同期比で増収増益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、駐輪場稼働率は回復傾向にあるものの、第1四半期連結会計期間の大幅な売上減少が影響していることに加え、機器販売が低迷し、前年同期比で大幅な減収減益となりました。

なお、雇用調整助成金等の営業外収益132百万円を計上しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,595百万円（前年同期比4.4%減）、営業損失80百万円（前年同期は営業利益526百万円）、経常利益63百万円（前年同期比88.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失8百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益416百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、以下のとおりであります。

システム開発事業

既存顧客に対するアカウントプランの推進によって、新領域獲得が堅調に推移しております。また、旺盛な業務効率化ニーズを背景に、会計シェアードサービス等の導入が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。この結果、売上高5,227百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益571百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

サポート&サービス事業

保守・運用コストの削減を図る大手顧客からの受注や、生損保の既存顧客で培ったノウハウ活用による同業他社での新規案件獲得などが寄与し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、進捗、採算管理の徹底が浸透し、前年同期比で大幅な増益となりました。この結果、売上高3,644百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益266百万円（前年同期比123.8%増）となりました。

パーキングシステム事業

駐輪場利用料収入におきましては、経済活動の段階的な再開に伴い、回復傾向が続きました。

一方で、機器販売におきましては、感染症の影響を受けて駅や商業施設に併設する駐輪場開設の中止や延期が発生し、大幅に減少したため、売上高は前年同期比で減収となりました。利益面におきましては、固定費削減対策として、集金及びメンテナンス回数の最適化や外部委託業務の内製化などにより、営業利益の減少幅の抑制に努めたものの、営業損失となりました。この結果、売上高3,712百万円（前年同期比22.8%減）、営業損失8百万円（前年同期は営業利益673百万円）となりました。

なお、1月7日に2度目の緊急事態宣言が発出されたことにより、再び駐輪場の稼働率が低下する懸念があることなどから、時間貸駐輪場における売上高の対前年度比を以下のように想定しております。

(2021年3月期 時間貸駐輪場における売上高の対前年度比)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2020年5月22日時点の想定	63%減少	15%減少	10%減少	10%減少
2020年8月3日時点の実績と想定	約50%減少 (実績)	25%減少	10%減少	10%減少
2020年10月30日時点の実績と想定	約50%減少 (実績)	約22%減少 (実績)	20%減少	20%減少
2021年2月1日現在の実績と想定	約50%減少 (実績)	約22%減少 (実績)	約10%減少 (実績)	20%減少

上記のセグメント別影響予測は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、感染症の拡大や収束の状況等によって業績は大きく変動する可能性があります。業績見通しの修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び足許の業績動向を踏まえ、2020年5月22日に公表いたしました2021年3月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,610,806	2,938,377
受取手形及び売掛金	2,782,706	2,220,368
商品及び製品	61,591	57,063
仕掛品	161,510	319,175
その他	1,028,791	945,244
貸倒引当金	△524	-
流動資産合計	6,644,881	6,480,230
固定資産		
有形固定資産	1,385,653	1,316,965
無形固定資産		
のれん	32,010	24,007
その他	80,499	120,416
無形固定資産合計	112,509	144,423
投資その他の資産		
その他	3,474,691	2,989,804
投資その他の資産合計	3,474,691	2,989,804
固定資産合計	4,972,854	4,451,193
資産合計	11,617,735	10,931,423
負債の部		
流動負債		
買掛金	812,272	609,071
短期借入金	907,301	1,367,467
1年内返済予定の長期借入金	85,000	45,000
賞与引当金	527,514	241,745
受注損失引当金	-	8,388
株式報酬引当金	81,365	-
その他	1,897,974	1,881,741
流動負債合計	4,311,427	4,153,414
固定負債		
長期借入金	30,000	-
リース債務	1,854,728	1,383,031
役員退職慰労引当金	72,992	28,693
退職給付に係る負債	1,262,360	1,255,541
資産除去債務	133,664	127,111
その他	39,110	38,440
固定負債合計	3,392,855	2,832,817
負債合計	7,704,282	6,986,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,750	438,750
資本剰余金	903,593	954,989
利益剰余金	2,900,018	2,779,023
自己株式	△317,463	△269,509
株主資本合計	3,924,897	3,903,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,333	33,352
為替換算調整勘定	△677	△763
退職給付に係る調整累計額	△44,998	△11,249
その他の包括利益累計額合計	△28,342	21,339
非支配株主持分	16,897	20,599
純資産合計	3,913,452	3,945,192
負債純資産合計	11,617,735	10,931,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	13,170,721	12,595,178
売上原価	10,974,599	10,943,848
売上総利益	2,196,121	1,651,330
販売費及び一般管理費	1,669,761	1,731,368
営業利益又は営業損失(△)	526,359	△80,037
営業外収益		
受取利息	44	58
受取配当金	5,737	6,475
補助金収入	12,970	132,928
その他	24,444	22,691
営業外収益合計	43,197	162,154
営業外費用		
支払利息	12,830	15,199
その他	11,274	3,872
営業外費用合計	24,105	19,072
経常利益	545,451	63,044
特別利益		
固定資産売却益	-	458
投資有価証券売却益	92,500	-
補助金収入	-	12,000
特別利益合計	92,500	12,458
特別損失		
固定資産圧縮損	-	12,000
固定資産除却損	3,935	-
減損損失	-	34,511
特別損失合計	3,935	46,511
税金等調整前四半期純利益	634,016	28,991
法人税等	213,243	34,196
四半期純利益又は四半期純損失(△)	420,773	△5,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,849	3,701
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	416,923	△8,907

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	420,773	△5,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,198	16,019
為替換算調整勘定	130	△86
退職給付に係る調整額	6,245	33,748
その他の包括利益合計	△21,823	49,681
四半期包括利益	398,950	44,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,100	40,774
非支配株主に係る四半期包括利益	3,849	3,701

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。